

# こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2005・7・15 No. 162 発行／(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



夕暮れから  
商いが始まる。下町の露店。仏具に混じって、雑貨、食料品などの店がのきを並び、夜遅くまで人の声や物音でさわがしい。小物を並べていた店の店主は10歳前後の女の子。外国製の中古ナイフを直切ったら「ダメッ!」と強く断られてしまった。商いを仕切るのは、もっぱら女性という土地がら。この子にもしっかり、その血が受け継がれている。商いのあいまいに、近くの露店の子とおままごと。その瞬間、子どものやんちゃな素顔をとりもどす。(タイ/写真・文=平早勉)

## 夢をのせて走れ!

**F1カー特別展**  
7.21~8.31 ギャラリー



“モータースポーツ”という言葉聞いたことがある人は多いと思います。自動車などを使った競技のことです。子どもたちも参加するカートレースからF1カーレースまで、決められた規則(エンジンや車体の大きさなどの規格)のもとで、世界中でいろいろなモータースポーツが行われています。

なかでも、最高の技術を集めて作られたF1カーは、速く走ることを目的に作られた“マシン”。時速300kmをこえるスピードでサーキットを走り抜けます。F1カーのさまざまなところに、技術者の知恵が生かされています。しかし、そのマシンを運転するのは“人間”——ドライバーです。マシンをおもいどりにあやつることができる、体力や精神力を備えていなければなりません。さらに、マシンとドライバーが最高の能力を発揮できるようにサポートする、ピットクルーと呼ばれる人たちの力も忘れてはなりません。

人間と人間の知恵が生み出したマシンが結びついて、チームとして力をきそいあうのが“モータースポーツ”といえます。

「夢をのせて走れ!~F1カー特別展」では、トヨタF1チームの協力をえて、F1カーを展示するほか、レーシングスーツ、ヘルメット、ドライバーシートなど、レースで使われているものと同じものを展示します。さらに、私たちが乗っている乗用車とF1カーのちがいがわかるように、タイヤ、ブレーキなどの部品も展示します。このほかにも、F1シミュレーターカーの体験コーナーなどもあります。



**これがF1カーのステアリングホイールだ**

テレビゲーム機のコントローラーのようにみえますが、これがF1カーのステアリングホイール(ハンドル)。左右は約28cm。ステアリングとしての機能のほか、切り替えスイッチやボタン、各種メーター、クラッチやシフトレバー(ギアの切り替え)の機能も備えています。グリップの形やスイッチの位置などは、ドライバーにあわせて作られています。

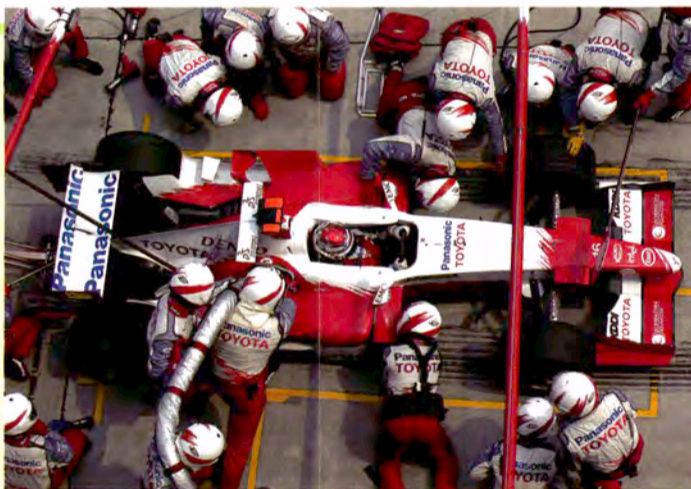


F1のエンジン

**すばやく、正確に!  
たいせつなピットワーク**

給油などのためにレーシングカーがピットに入ってくると、たくさんのピットクルーがいっせいにレーシングカーのまわりに集まってきて、それぞれに作業をはじめます。ガソリンは“給油担当”のクルーが、右下の写真のようなたいホースをかかえて給油します。

このほか、ドライバーにスタートの指示を送る“ロリーポップマン”、サイドポットにたまったごみをかきだす“ダスト除去担当”、排気の熱でガソリンに引火しないように排気口をふさぐ“しゃ熱板担当”、エンジンストップ(エンスト)したときに備えて待機している“スターター”——ドライバーがレースに集中できるように、たくさんの人がF1カーレースを支えています。トヨタチームでは、いろいろな事態を考慮してピットワークを練習。その数は25パターン以上あるそうです。



**特別イベント 体験! トヨタF1カーコクピット**

展示してある「トヨタF1カー」のコクピット(運転席)にすわってみることができます。どのくらいの広さか、どんなシートにすわって運転しているのか、ステアリングホイールやアクセルやブレーキペダルの位置はどうか——などを体験することができます。

■日時 7月21~31日/8月11~16日/8月22~31日  
(11時・1時30分・3時30分の3回)  
※各回30分前受け付け。15分前に抽選。

**トヨタF1シミュレーターカー(体験)**

「トヨタF1カー」のドライバーになって、F1レースのグランプリコースにチャレンジ。“マシン”をうまくコントロールして、ゴールをめざします。最速ラップを記録するのはだれだ!

■日時 7月21日~8月31日(10~12時・1~5時30分)  
■対象・定員 身長140cm以上の小学生。  
※先着順。定員制。

**「F1の魅力に触れる! 感じる!」** 展示コーナーには、タイヤ、ドライバーシート、ブレーキなどのパーツが展示されます。また、「F1クイズラリー」「F1トリビア」「キミもF1ドライバーに! ドライバー育成プログラム」などのコーナーもあります。さらに、トヨタF1チームオフィシャルグッズがもらえるもよしもあります。

【こどもの城】は、今年の11月1日で開館20周年を迎えます。今までに2千万人をを超える人に利用されています。これからも、人と人とのふれあい・交流を大切にしながら、「あそび」をとおしてさまざまな出会い・発見ができるようにしていきたいと思ひます。

**たくさん遊んであそびの王様をめざそう!**

**ドルッチャランド**

開館20周年記念「めざせ王様! チキチキドルッチャランド」が、8月26~28日に全館を使って行われます。主会場は体育室。いろいろな遊びが楽しめる“あそびショップ”をまわって、スタンプを集めます。20ポイント集めると“あそびの王様”です。

1時30分と3時30分の2回、“ドルッチャフェスティバル”を開催。みんなで、歌って、おどって楽しむ遊びの祭典です。

8月27日(5~8時)は、こどもの城の縁日「マジックアワーパーティー」。サンバの演奏会、星空の映画会、楽しいゲーム店やおいしい屋台がいっぱいならびます。(協賛: ネスレ ミロ)

一人ひとりを大切に 遊びがつくるみんなのWA

遊びがつくるみんなのWA

**キラキラたいよう あそびまつり**

2005 夏休み 特別期間

7月21日(木)~8月31日(水)

期間中は毎日開催しています。  
7月19日は休館。7月20日は19時30分開館。  
※7月20日は休館です。

開館時間 10:00~5:30(入館は5:00まで)  
入館料 とも400円(3歳以上1日連続) / おとな500円

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1  
☎ 03-3797-5666 FAX 03-3797-5676  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1  
http://www.kodomo-no-shiro.or.jp/

夏休みは毎日開催!

夏休み特別期間(7月21日~8月31日) 保護者も利用できるお楽しみ企画を実施しています。7月21日(木)~22日(金) とも1,500円 / 7月23日(土)~24日(日) とも1,800円

こどもの城

人と地球の、自然なサイクルのために。

人と自然が調和する持続可能な社会の実現をめざして、富士通グループ16万人、ひとりひとりの力をすべて結集します。私たちは、最先端のITと、環境テクノロジーをベースにお客さまにご提供する製品、ソリューション、マネジメントなど事業活動の全領域を通じて、さまざまな環境活動を行いながら、豊かな地球環境の未来を創造していきます。

すべてをグリーンにします  
eco.fujitsu.com/jp



THE POSSIBILITIES ARE INFINITE





### 一緒に草笛を吹いてみましょう

新緑の季節——わいわいスタジオ恒例の「ハッパの歌声 草笛コンサート」が6月5日に開かれました。出演は中島進四さんと仲間たち。音の出しやすい、葉っぱを巻いて作る「巻き笛」の作り方を教わって、一緒に合奏に加わりました。



### 線路をどんどん延ばしていきんだ

プラレールを中心とした「みんなで遊ぼう! 走れ! キャスルトレイン」が6月25・26日にフリーホールで開かれました。直線、曲線、ポイント、プラットホーム、トンネル、鉄橋などのパーツを組み合わせて床一面にレールをレイアウトして遊びました。

**【こどもの城】の夏休み特別期間**  
7月21日～8月31日(期間中は毎日開館)  
開館時間: 10時～5時30分  
入館料: 子ども(3歳以上18歳未満) 400円  
おとな500円

### 楽しそうな絵本ができましたね

ギャラリーで開かれた「オーストラリア絵本展 南半球からのメッセージ」(6月11～26日)の特別プログラムとして、18・19日に2人の絵本作家を招いてワークショップを開催。アリソン・レスターさんのワークショップでは、オーストラリアを旅する絵本を作りました。



### 子どもたちのための映画祭 キンダー・フィルム・フェスティバル

#### ドラマ部門5作品、アニメ部門6作品が審査の対象

8月4～7日: Bスタジオ、9～14日: 青山円形劇場  
【こどもの城】は7月21日～8月31日が夏休み特別期間。10時から5時30分まで毎日開館しています(9月1・2日は休館)。夏休み恒例の「キンダー・フィルム・フェスティバル」は、8月4～7日、9～14日の2期にわたって開かれます。前期がBスタジオを会場に短編アニメーションを中心とした上映会、後期が青山円形劇場を会場にコンペティション参加作品を中心とした上映会と特別プログラム「ピクサーアーティストによるアニメ制作体験ワークショップ」を行います。



子ども審査員がグランプリを選出(昨年の表彰式)

#### 開会式は9日、青山円形劇場

「キンダー・フィルム・フェスティバル」は、子どもたちのための国際映画祭。子ども審査員がグランプリ作品を選びます。今回は、ドラマ部門5作品、アニメ部門6作品がノミネートされています。ノルウェー、ドイツ、ギリシャ、オーストラリア、オランダ、スウェーデン、フィンランド、アメリカなどの国々で作られた作品です。

開会式は、9日の1時から青山円形劇場で開催。引き続き、コンペティション参加作品を中心とした上映、特別プログラムのワークショップが行われます。また、9～11日、13日の5時15分からの回は長編作品の特別上映会(有料。大人1,000円/子ども=高校生まで=500円)を行います。上映スケジュールなどは、「キンダー・フィルム・フェスティバル事務局」までお問い合わせください。



#### アレキサンドラ・シャッツのアニメ作品を特集上映

開会式に先立って行われるBスタジオの上映会は、各日も11時20分、1時40分、2時40分、3時40分の4回。毎日1時40分の回と6・7日の2時40分の回は、ドイツのアニメーション監督・制作者、アレキサンドラ・シャッツの特集上映。これまで「キンダー——」でも上映して好評だった「大きなネコと小さなネコ」や新作の「リトル モンスター」など6作品を集めて上映します。

#### 「声優体験」アニメ制作のワークショップ

「キンダー——」では、子どもたちに声優の吹き替えを体験してもらうワークショップを毎回行っています。対象は小・中学生。「マレーネとフロリアン」という短編アニメーション

世界のさまざまな国の映画を上映すると、言葉の問題があります。映画やテレビなどでは、字幕や吹き替えという方法がとられますが、「キンダー——」では「ボイス・オーバー」という方法で上映します。もとの映画のセリフなどにかぶせるように、その場で日本語のセリフを声優のみなさんに吹き替えてもらう方式。スクリーンに集中して映画を楽しめると好評です。

#### 【コンペティション参加作品(一部)】



青山劇場 ☎03-3797-5678 <http://www.aoyama.org>

### 青山劇場

- 少年隊 PLAYZONE 2005 ~20th Anniversary~  
▽7月6日～8月4日▽S席=15,000円  
(問) 0180-993-774
- THE PRODUCERS (プロデューサーズ)  
▽8月13～31日▽SS席=12,000円、S席=11,000円、A席=9,500円  
(問) 0180-993-545
- SHINKANSEN☆PRODUCE  
いのうえ歌舞伎「吉原御免状」



▽9月8日～10月5日▽S席=10,500円、A席=8,400円、Z席=5,500円  
(問) 0570-00-3337  
▽10月9～16日▽S席=10,000円、A席=7,500円 (問) 03-3213-7221

### 青山円形劇場

- 谷桃子バレー団制作小ホール公演  
「CREATIVE PERFORMANCE III (クリエイティブ・パフォーマンス III)」  
▽7月19・20日▽3,500円  
(問) 03-3561-5012
- 月盤えん音楽会 2005  
▽7月22～24日▽無料(応募招待制)  
(問) 03-3797-5678
- ミュージカルキッズ★アルバム  
「かぐやの浦島モモタロウ」

### こどもの城となかまたち パソコン利用して遊びを豊かに プログラムの実際と準備方法を学ぶ

こどもの城児童厚生員等実技指導講習会パソコン編が、6月8・9日にパソコンルームで開かれました。講師は、【こどもの城】プレイ事業部のスタッフ。開館以来、数々の試行錯誤を重ねて作り上げてきたパソコン遊びのなかから、グラフィックスを使ったプログラムを中心に講習しました。参加者は12人。通い型の講習会にもかかわらず、遠く香川県や愛知県、福島県から参加する人もいました。【こどもの城】のパソコン遊びは、遊びをより豊かにするために、パソコンという新しいツールをどのように取り入れればよいかを考えながら行われています。今回はグラフィックス機能を生かして、色や模様



一人1台のパソコンを使って講習を行いました

をつけたり、いろいろな形を組み合わせで独自のものを作ったりして楽しむクラフト遊び、さらにパソコンでデザインして作ったもので遊ぶプログラムを紹介しました。「うみのいきものを作ろう」は、ぬりえを応用したプログラム。データベースには、たくさんの「海の生き物」の線画が収められています。子どもは、タコやヒラメなど好きな絵柄を選んで色や模様をつけていきます。プリントしたものを切り抜いて、海(海底)に見立てた壁にみんなではっていきます。だんだんと海がにぎやかになっていきます。

参加者は遊びを体験したあと、プログラム準備の実際を市販のグラフィックス・ソフトを使って演習。画面を見ながら直接描画する方法、精円などの図形を組み合わせて描く方法、写真をトレースして線画にする方法——いくつかの方法があると説明を受けたのち、図形を組み合わせてぬりえの下絵作りに取り組みました。

続いて、頭、手、

胴、足などのパーツをパソコンの画面上で組み合わせて作る「パソコン紙相撲」。プリントアウトしたものを厚手の紙にはって、切り抜いて力士を作り、紙相撲を楽しむプログラム。パーツを組み合わせて作った下絵に色や模様をつけるところは、ぬりえと同じ。遊ぶための道具(紙相撲力士)をパソコンで作る、作った紙相撲の力士で遊びます。パソコンでなにかを作ったことで終わるのではなく、作ったものでさらに遊びを広げていけるように考えたプログラムです。

小物入れ(箱)や紙飛行機などのクラフト遊びでは、展開図や図面が必要。図面の作り方も練習しました。線画を描く、図を作る、色や模様をつける——これを組み合わせるだけでも、さまざまなプログラムができます。図を用意しておいて色や模様をつける(ぬりえ、小物入れなど)、いくつかのパーツを組み合わせて作る(紙相撲、カレンダーなど)、図面をアレンジできるようにしておく(紙飛行機など)——子どもの立場で遊びを体験したあと、それぞれの準備方法を紹介するかたちで講習が行われました。

「基本を学べたことで、応用する楽しさが出てくるのでは?」と思えて、充実した講習会でした。紙相撲の力士をパーツごとに組み合わせて作るやり方など、パソコンでも個性が出せる内容があるのだと、勉強になった」と参加者の感想。

### ボランティア活動に興味をもつ高校1・2年生を対象 9月から始まるL.I.T.のメンバーを募集 遊びをとおして子どもたちとふれあう

社会参加の意義や喜びを体験的に学ぶ高校生グループ「L.I.T. (Leader In Training)」のメンバーを募集しています。対象は高校1・2年生。子どもを対象としたボランティア活動に興味をもち、将来ボランティア活動をしてみたいと思っている人。

【こどもの城】では、子どもと一緒に活動するボランティアを「リーダー」と呼んでいますが、高校生ボランティアは「トレーニング中のリーダー」という意味で「エル・アイ・ティー」と呼んでいます。毎年9月から翌年の8月までの1年間を区切りとして活動しています。

原則として、毎月2回日曜日に【こどもの城】で(あそび)をとおして子どもたちとふれあうボランティア活動を行います。年数回、合宿などの実習活動も行います。

子ども(あそび)をとおして子どもたちとふれあうボランティア活動を行います。年数回、合宿などの実習活動も行います。

【こどもの城】では、子どもと一緒に活動するボランティアを「リーダー」と呼んでいますが、高校生ボランティアは「トレーニング中のリーダー」という意味で「エル・アイ・ティー」と呼んでいます。毎年9月から翌年の8月までの1年間を区切りとして活動しています。

原則として、毎月2回日曜日に【こどもの城】で(あそび)をとおして子どもたちとふれあうボランティア活動を行います。年数回、合宿などの実習活動も行います。

お問い合わせ・お申し込みは、保育研究開発部【03-3797-5669】まで。保育セミナーのプログラム概

- ▽7月28日～8月7日▽5,000円  
(問) 03-3379-7291
- シス・カンパニー公演「エドモンド」  
▽8月19日～9月13日▽6,500円  
(問) 03-5423-5906
- アキコ・カンダ モダンダンス公演  
「彼方へ～めぐりあう七つの風景～」  
▽9月16～18日▽4,600円  
(問) 048-645-6551
- ファミリーオペレッタ  
まんぷく村のハムスター キック  
「ワニのジャックがやってくる」  
▽9月23～25日▽2,800円  
(問) 042-572-9029



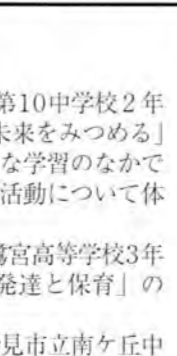
L.I.T.が企画・運営した遊びのプログラム「春一番」(今年の4月)たちのためのプログラムを企画する、子どもたちの豊かなキャンプ生活を支える——などの活動を行います。L.I.T.は、メンバー一人ひとりの自発的な意志によって支えられているので、運営は自分たちの力でいきます。初めて出会うメンバーが、互いを理解することから始めて、最終的にはグループのなかで一人ひとりがそれぞれの持ち味を発揮できるようなグループをめざして活動します。

参加を希望する人は、保護者に参

要は下記のとおり(敬称略)。  
●6日(10～5時)  
○基調講演「考えてみよう家族援助」  
○演習・グループディスカッション「保護者とのコミュニケーション」  
講師=東京大学大学院・上別府圭子  
●7日(10～3時)  
○分科会「コミュニティの中の児童福祉施設～地域の力を活かすには」  
助言者=神奈川県立保健福祉大学・山崎美貴子  
○同日、求められる園の運営管理～リーダー職員の意識改革と職員集団の成長」  
助言者=社会福祉法人茶々保育園(埼玉県入間市)・杉山治子  
○同日「明日から活かせる保育実技ワークショップ」  
助言者=東京都立文京高等学校3年生白川かもめ保育園(公設民営)・菊池政隆

### 保育士など46人が参加して 子育て支援講習会開く

第5回子育て支援講習会「最新の小児保健の基礎と実際～心とからだの健康 0.1.2歳児」が、6月24・25日に開かれ、全国から保育士など46人が参加しました。講師は、こどもの城小児保健クリニックの小児科医師、管理栄養士、看護師、臨床心理士。それぞれの立場から乳幼児期の心とからだの健康について、現場での経験をふまえた最新の情報を紹介しました(写真左)。



### 施設見学

- 5月19日=山形市立第10中学校2年生3人。「ともに生き未来をみつめる」というテーマの総合的な学習のなかで福祉を取り上げ、保育活動について体験学習。
- 5月28日=東京都立鷺宮高等学校3年生17人。選択科目「発達と保育」の授業の一環。
- 6月2日=岐阜県多治見市立南ヶ丘中

学校3年生8人。修学旅行で「将来の夢に近い職場」の体験をとおして自分の進路を見つけていく——保育士などをめざしているグループが、幅広く児童の健全育成を学ぶため。